

[平成15年度設置]

佐賀大学大学文化教育学部・経済学部・医学部・理工学部

設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人佐賀大学
平成19年4月1日現在

作成担当者

総合企画監 ニシヤマ 西山マズス普

総合企画監付調査係

係長 キツカノ 木塚徳男

電話番号 0952-28-8814

(夜間) 0952-28-8814

F A X 0952-28-8118

e-mail kizukan@cc.saga-u.ac.jp

目 次

1. 調査対象大学等の概要	1
2. 授業科目の概要	17
3. 施設・設備の整備状況, 経費	45
4. 既設大学等の状況	46
5. 学部・学科別教員組織の状況	47
6. 留意事項に対する履行状況等	65
7. その他全般的事項	66

大学等設置に係る設置計画履行状況報告書

1 調査対象大学院等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 佐賀大学

(2) 大学名

国立大学佐賀大学

(3) 大学本部の位置

佐賀県佐賀市本庄町1番地

(4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
学長	(ハセガワ アキラ) 長谷川 照 (平成15年10月1日)		
文化教育学部	(ツジ ケンジ) 辻 健児 (平成15年10月1日)	(ウツオ トモノブ) 撫尾 知信 (平成18年4月1日)	任期満了に伴う変更⑩
経済学部長	(コガ カズフミ) 古賀 和文 (平成15年10月1日)	(ノウトミ イチロウ) 納富 一郎 (平成16年10月1日)	任期満了に伴う変更⑩
医学部長	(ムカイ ツネヒロ) 向井 常博 (平成15年10月1日)	(キモト マサオ) 木本 雅夫 (平成17年10月1日)	任期満了に伴う変更⑩
医学科長	(マスコ サダヒコ) 増子 貞彦 (平成15年10月1日)	(フジマト カズマ) 藤本 一真 (平成16年10月1日)	任期満了に伴う変更⑩
看護学科長	(イノウエ ノリエ) 井上 範江 (平成15年10月1日)		
理工学部長	(ニシカワ サダカツ) 西河 貞捷 (平成15年10月1日)	(ナカジマ アキラ) 中島 晃 (平成17年10月1日)	任期満了に伴う変更⑩
数理科学科長	(ナカハラ トオル) 中原 徹 (平成15年10月1日)	(チェン キンミン) 成 慶明 (平成19年4月1日)	任期満了に伴う変更⑩
物理科学科長	(クマノ シュンソウ) 熊野 俊三 (平成15年10月1日)	(ヨネヤマ ヒロシ) 米山 博志 (平成19年4月1日)	任期満了に伴う変更⑩
知能情報システム学科長	(ウエハラ ツヨシ) 上原 健 (平成15年10月1日)	(ワタナベ ケンジ) 渡邊 健次 (平成19年4月1日)	任期満了に伴う変更⑩
機能物質化学科長	(オオイシ ユウジ) 大石 祐司 (平成15年10月1日)	(ノグチ ヒデユキ) 野口 英行 (平成19年4月1日)	任期満了に伴う変更⑩
機械システム工学科長	(カネコ ケンジ) 金子 賢二 (平成15年10月1日)	(マツオ シゲル) 松尾 繁 (平成19年4月1日)	任期満了に伴う変更⑩

電気電子工学科長	(フシタ ヒロハル) 藤田 寛治 (平成15年10月1日)	(ヤマベ チョウベエ) 山部 長兵衛 (平成19年4月1日)	任期満了に伴う変更⑯
都市工学科長	(ニワ カズヒコ) 丹羽 和彦 (平成15年10月1日)	(イワオ コウシロウ) 岩尾 雄四郎 (平成19年4月1日)	任期満了に伴う変更⑯

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の名称(学位)	認可時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
文化教育学部 学校教育課程 学士(学校教育)	4年	90人	-	360人	
文化教育学部 国際文化課程 学士(国際文化)	4	60	-	240	
文化教育学部 人間環境課程 学士(人間環境、健康福祉・スポーツ)	4	60	-	240	
文化教育学部 美術・工芸課程 学士(美術・工芸)	4	30	-	120	
文化教育学部 編入学 (学部共通)	2	-	3年次 20人	40	
経済学部 経済システム課程 学士(経済学)	4	140	-	560	
経済学部 経営・法律課程 学士(経済学)	4	135	-	540	
医学部 医学科 学士(医学)	6	95	-	570	
医学部 看護学科 学士(看護学)	4	60	3年次 10人	260	
理工学部 数理科学科 学士(理学)	4	30	-	120	
理工学部 物理科学科 学士(理学)	4	40	-	160	
理工学部 知能情報システム学科 学士(理学)	4	60	-	240	
理工学部 機能物質化学科 学士(理学、工学)	4	90	-	360	

理工学部 機械システム工学科 学士(工学)	4	90	人 年次 人 -	360	人
理工学部 電気電子工学科 学士(工学)	4	90	人 年次 人 -	360	人
理工学部 都市工学科 学士(工学)	4	90	人 年次 人 -	360	人
理工学部 編入学 (学部共通)	2	-	人 3年次 20	40	人

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

<文化教育学部学校教育課程>

報告年度 区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	90	90	90	90	倍 1.13	
志願者数	571	546	401	477		
受験者数	393	408	280	327		
合格者数	114	112	108	110		
B 入学者数	106	104	98	102		
入学定員超過率 B/A	1.17	1.15	1.08	1.13		

<文化教育学部国際文化課程>

報告年度 区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	60	60	60	60	倍 1.07	
志願者数	265	268	240	234		
受験者数	210	206	192	167		
合格者数	81	75	82	78		
B 入学者数	69	61	67	62		
入学定員超過率 B/A	1.15	1.01	1.11	1.03		

<文化教育学部人間環境課程>

報告年度 区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	60	60	60	60	倍 1.10	
志願者数	317	242	179	170		
受験者数	206	175	124	109		
合格者数	79	73	74	75		
B 入学者数	64	66	70	65		
入学定員超過率 B/A	1.06	1.10	1.16	1.08		

<文化教育学部美術・工芸課程>

報告年度 区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	30	30	30	30	倍	

志願者数	158	118	132	118	1.04
受験者数	110	96	99	85	
合格者数	32	32	32	33	
B 入学者数	31	31	32	32	
入学定員超過率 B/A	1.03	1.03	1.06	1.06	

<文化教育学部編入学(学部共通)>

報告年度 区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備考
A 入学定員	(-)人	(-)人	(20)人	(20)人	倍 (0.95)	
志願者数	(-)	(-)	(87)	(83)		
受験者数	(-)	(-)	(85)	(82)		
合格者数	(-)	(-)	(23)	(23)		
B 入学者数	(-)	(-)	(19)	(19)		
入学定員超過率 B/A	(-)	(-)	(0.95)	(0.95)		

<経済学部経済システム課程>

報告年度 区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備考
A 入学定員	人 140	人 140	人 140	人 140	倍 1.12	
志願者数	691	735	624	623		
受験者数	440	504	414	409		
合格者数	197	197	213	209		
B 入学者数	163	157	154	155		
入学定員超過率 B/A	1.16	1.12	1.10	1.10		

<経済学部経営・法律課程>

報告年度 区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備考
A 入学定員	人 135	人 135	人 135	人 135	倍 1.13	
志願者数	554	615	536	663		
受験者数	371	407	334	410		
合格者数	193	195	209	213		
B 入学者数	155	153	152	156		
入学定員超過率 B/A	1.14	1.13	1.12	1.15		

<医学部医学科>

報告年度 区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平均入学定員 超過率	備考
A 入学定員	人 95	人 95	人 95	人 95	人	人	1.00	
志願者数	710	649	546	455				
受験者数	464	466	472	365				
合格者数	95	96	96	96				
B 入学者数	95	95	95	95				
入学定員超過率 B/A	1.00	1.00	1.00	1.00				

<医学部看護学科>

報告年度 区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	人 60	人 60	人 (10) 60	人 (10) 60	倍 (0.95) 1.01	
志願者数	290	212	(47) 254	(43) 155		
受験者数	196	164	(39) 196	(34) 113		
合格者数	71	65	(11) 64	(12) 63		
B 入学者数	60	62	(9) 62	(10) 60		
入学定員超過率 B/A	1.00	1.03	(0.90) 1.03	(1.00) 1.00		

<理工学部数理科学科>

報告年度 区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	人 30	人 30	人 30	人 30	倍 1.34	
志願者数	205	120	98	105		
受験者数	183	112	73	92		
合格者数	51	48	40	37		
B 入学者数	45	47	37	33		
入学定員超過率 B/A	1.50	1.56	1.23	1.10		

<理工学部物理科学科>

報告年度 区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	人 40	人 40	人 40	人 40	倍 1.18	
志願者数	119	67	173	100		
受験者数	89	61	119	81		
合格者数	63	58	57	54		
B 入学者数	48	48	45	48		
入学定員超過率 B/A	1.20	1.20	1.12	1.20		

<理工学部知能情報システム学科>

報告年度 区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	人 60	人 60	人 60	人 60	倍 1.06	
志願者数	283	246	248	186		
受験者数	241	216	176	146		
合格者数	74	76	75	76		
B 入学者数	65	63	62	67		
入学定員超過率 B/A	1.08	1.05	1.03	1.11		

<理工学部機能物質化学科>

報告年度 区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	人 90	人 90	人 90	人 90	倍 1.08	
志願者数	342	377	251	259		
受験者数	306	309	187	221		
合格者数	126	121	121	120		
B 入学者数	105	95	94	99		
入学定員超過率 B/A	1.16	1.05	1.04	1.10		

<理工学部機械システム工学科>

報告年度 区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	90	90	90	90	1.09	
志願者数	401	404	270	301		
受験者数	340	350	222	253		
合格者数	115	121	115	112		
B 入学者数	92	108	103	91		
入学定員超過率 B/A	1.02	1.20	1.14	1.01		

<理工学部電気電子工学科>

報告年度 区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	90	90	90	90	1.07	
志願者数	364	425	261	299		
受験者数	312	377	225	242		
合格者数	114	119	115	112		
B 入学者数	96	98	99	96		
入学定員超過率 B/A	1.06	1.08	1.10	1.06		

<理工学部都市工学科>

報告年度 区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	90	90	90	90	1.03	
志願者数	329	347	252	310		
受験者数	281	315	200	261		
合格者数	113	123	112	113		
B 入学者数	93	96	92	94		
入学定員超過率 B/A	1.03	1.06	1.02	1.04		

<理工学部編入学(学部共通)>

報告年度 区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	(-) 人	(-) 人	(20) 人	(20) 人	(1.05)	
志願者数	(-)	(-)	(47)	(55)		
受験者数	(-)	(-)	(42)	(53)		
合格者数	(-)	(-)	(25)	(30)		
B 入学者数	(-)	(-)	(16)	(26)		
入学定員超過率 B/A	(-)	(-)	(0.80)	(1.30)		

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

<文化教育学部学校教育課程>

学年	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次		[2] 106	[1] 104	[0] 98	[2] 102	
2年次			[2] 107	[0] 104	[0] 100	
3年次				[2] 106	[2] 104	
4年次					[2] 106	
計		[2] 106	[3] 211	[2] 308	[6] 412	

<文化教育学部国際文化課程>

学年	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次		[1] 69	[1] 61	[0] 67	[1] 62	
2年次			[1] 69	[1] 61	[0] 68	
3年次				[1] 75	[1] 69	
4年次					[1] 75	
計		[1] 69	[2] 130	[2] 203	[3] 274	

<文化教育学部人間環境課程>

学年	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次		[1] 64	[0] 67	[0] 70	[1] 65	
2年次			[1] 62	[0] 66	[0] 69	
3年次				[1] 70	[0] 73	
4年次					[1] 70	
計		[1] 64	[1] 129	[1] 206	[2] 277	

<文化教育学部美術・工芸課程>

学年	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次		[0] 31	[0] 31	[0] 32	[0] 32	
2年次			[0] 31	[0] 31	[0] 31	
3年次				[0] 34	[0] 32	
4年次					[0] 33	
計		[0] 31	[0] 62	[0] 97	[0] 128	

<経済学部経済システム課程>

学年	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次		[2] 163	[2] 157	[0] 154	[0] 155	
2年次			[2] 161	[2] 156	[0] 154	
3年次				[2] 160	[2] 154	
4年次					[2] 159	
計		[2] 163	[4] 318	[4] 470	[4] 622	

<経済学部経営・法律課程>

学年	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次		[7] 155	[7] 153	[4] 152	[5] 156	
2年次			[7] 156	[7] 152	[4] 151	

3年次			[7] 152	[6] 149
4年次				[7] 151
計	[7] 155	[14] 309	[18] 456	[22] 607

<医学部医学科>

学 年	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	備 考
1年次		[0] 95	[0] 96	[0] 96	[0] 95	[]	[]	
2年次			[0] 99	[0] 105	[0] 107	[]	[]	
3年次				[0] 89	[0] 95	[]	[]	
4年次					[0] 89	[]	[]	
5年次						[]	[]	
6年次							[]	
計		[0] 95	[0] 195	[0] 290	[0] 386	[]	[]	

<医学部看護学科>

学 年	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次		[0] 60	[0] 62	[0] 62	[0] 60	
2年次			[0] 61	[0] 66	[0] 64	
3年次				[0] 70	[0] 79	
4年次					[0] 62	
計		[0] 60	[0] 123	[0] 198	[0] 265	

<理工学部数理科学科>

学 年	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次		[0] 45	[1] 47	[1] 37	[0] 33	
2年次			[0] 45	[1] 47	[1] 37	
3年次				[0] 46	[1] 46	
4年次					[0] 46	
計		[0] 45	[1] 92	[2] 130	[2] 162	

<理工学部物理科学科>

学 年	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次		[0] 48	[0] 48	[0] 45	[0] 48	
2年次			[0] 48	[0] 48	[0] 45	
3年次				[0] 48	[0] 50	
4年次					[0] 48	
計		[0] 48	[0] 96	[0] 141	[0] 191	

<理工学部知能情報システム学科>

学 年	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次		[1] 65	[0] 63	[2] 62	[2] 67	
2年次			[1] 65	[0] 62	[1] 61	
3年次				[1] 68	[0] 65	
4年次					[1] 66	
計		[1] 65	[1] 128	[3] 192	[4] 259	

<理工学部機能物質化学科>

学 年	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次		[2] 105	[1] 95	[1] 94	[0] 99	
2年次		/	[2] 105	[0] 93	[1] 93	
3年次		/	/	[0] 103	[0] 96	
4年次		/	/	/	[0] 102	
計		[2] 105	[3] 200	[1] 290	[1] 390	

<理工学部機械システム工学科>

学 年	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次		[2] 92	[7] 108	[2] 103	[1] 91	
2年次		/	[2] 92	[7] 108	[2] 103	
3年次		/	/	[3] 95	[11] 115	
4年次		/	/	/	[3] 95	
計		[2] 92	[9] 200	[12] 306	[17] 404	

<理工学部電気電子工学科>

学 年	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次		[3] 96	[1] 98	[2] 99	[2] 96	
2年次		/	[3] 95	[1] 98	[2] 97	
3年次		/	/	[6] 99	[2] 104	
4年次		/	/	/	[6] 97	
計		[3] 96	[4] 193	[9] 296	[12] 394	

<理工学部都市工学科>

学 年	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次		[2] 93	[1] 96	[0] 92	[1] 94	
2年次		/	[2] 92	[0] 95	[0] 92	
3年次		/	/	[2] 92	[0] 95	
4年次		/	/	/	[2] 93	
計		[2] 93	[3] 188	[2] 279	[3] 374	

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

<文化教育学部学校教育課程>

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	[0] 2 人	1.9%	左記のうち, 平成16年度入学者 2人
	(主な理由) 進路変更		
平成18年度	[0] 2 人	1.0%	左記のうち, 平成16年度入学者 2人 平成17年度入学者 人
	(主な理由) 進路変更		
平成19年度	[0] 2 人	0.6%	左記のうち, 平成16年度入学者 2人 平成17年度入学者 人 平成18年度入学者 人
	(主な理由) 進路変更		

<文化教育学部国際文化課程>

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	[0] 0 人	0.0%	左記のうち, 平成16年度入学者 人
	(主な理由)		
平成18年度	[0] 0 人	0.0%	左記のうち, 平成16年度入学者 人 平成17年度入学者 人
	(主な理由)		
平成19年度	[0] 1 人	0.5%	左記のうち, 平成16年度入学者 人 平成17年度入学者 1人 平成18年度入学者 人
	(主な理由) 進路変更		

<文化教育学部人間環境課程>

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	[0] 0 人	0.0%	左記のうち, 平成16年度入学者 人
	(主な理由)		

	(主な理由)		
平成18年度	[0] 1 人	0.8%	左記のうち, 平成16年度入学者 1人 平成17年度入学者 人
	(主な理由) 進路変更		
平成19年度	[0] 2 人	1.0%	左記のうち, 平成16年度入学者 1人 平成17年度入学者 1人 平成18年度入学者 人
	(主な理由) 進路変更		

<文化教育学部美術・工芸課程>

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	[0] 0 人	0.0%	左記のうち, 平成16年度入学者 人
	(主な理由)		
平成18年度	[0] 0 人	0.0%	左記のうち, 平成16年度入学者 人 平成17年度入学者 人
	(主な理由)		
平成19年度	[0] 0 人	0.0%	左記のうち, 平成16年度入学者 人 平成17年度入学者 人 平成18年度入学者 人
	(主な理由)		

<経済学部経済システム課程>

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	[0] 0 人	0.0%	左記のうち, 平成16年度入学者 人
	(主な理由)		
平成18年度	[0] 0 人	0.0%	左記のうち, 平成16年度入学者 人 平成17年度入学者 人
	(主な理由)		

平成19年度	[0] 4	人	0.8%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人 平成17年度入学者 2人 平成18年度入学者 1人
	(主な理由) 進路変更			

<経済学部経営・法律課程>

区分 報告年度	退学者等の数	人	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	[0] 0		0.0%	左記のうち、 平成16年度入学者 人
	(主な理由)			
平成18年度	[0] 5		1.6%	左記のうち、 平成16年度入学者 4人 平成17年度入学者 1人
	(主な理由) 進路変更			
平成19年度	[1] 8		1.7%	左記のうち、 平成16年度入学者 4人 平成17年度入学者 4人 平成18年度入学者 人
	(主な理由) 進路変更			

<医学部医学科>

区分 報告年度	退学者等の数	人	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	[0] 0		0.0%	左記のうち、 平成16年度入学者 人
	(主な理由)			
平成18年度	[0] 0		0.0%	左記のうち、 平成16年度入学者 人 平成17年度入学者 人
	(主な理由)			
平成19年度	[0] 0		0.0%	左記のうち、 平成16年度入学者 人 平成17年度入学者 人 平成18年度入学者 人
	(主な理由)			

<医学部看護学科>

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	[0] 0 人	0.0%	左記のうち, 平成16年度入学者 人
	(主な理由)		
平成18年度	[0] 2 人	1.6%	左記のうち, 平成16年度入学者 2人 平成17年度入学者 人
	(主な理由) 進路再考		
平成19年度	[0] 2 人	1.0%	左記のうち, 平成16年度入学者 2人 平成17年度入学者 人 平成18年度入学者 人
	(主な理由) 進路再考		

<理工学部数理科学科>

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	[0] 0 人	0.0%	左記のうち, 平成16年度入学者 人
	(主な理由)		
平成18年度	[0] 0 人	0.0%	左記のうち, 平成16年度入学者 人 平成17年度入学者 人
	(主な理由)		
平成19年度	[0] 1 人	0.8%	左記のうち, 平成16年度入学者 1人 平成17年度入学者 人 平成18年度入学者 人
	(主な理由) 就職		

<理工学部物理科学科>

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	[0] 0 人	0.0%	左記のうち, 平成16年度入学者 人
	(主な理由)		

平成18年度	[0] 人	0.0%	左記のうち、 平成16年度入学者 人 平成17年度入学者 人
	(主な理由)		
平成19年度	[0] 人	0.0%	左記のうち、 平成16年度入学者 人 平成17年度入学者 人 平成18年度入学者 人
	(主な理由)		

<理工学部知能情報システム学科>

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	[0] 人	0.0%	左記のうち、 平成16年度入学者 人
	(主な理由)		
平成18年度	[0] 人	0.0%	左記のうち、 平成16年度入学者 人 平成17年度入学者 人
	(主な理由)		
平成19年度	[1] 4	2.1%	左記のうち、 平成16年度入学者 2人 平成17年度入学者 1人 平成18年度入学者 1人
	(主な理由) 進路変更		

<理工学部機能物質化学科>

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	[0] 人	0.0%	左記のうち、 平成16年度入学者 人
	(主な理由)		
平成18年度	[0] 1	0.5%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人 平成17年度入学者 人
	(主な理由) 進路変更		

平成19年度	[0] 3	人	1.0%	左記のうち, 平成16年度入学者 2人 平成17年度入学者 1人 平成18年度入学者 1人
	(主な理由) 進路変更			

<理工学部機械システム工学科>

区分 報告年度	退学者等の数	人	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	[0] 0		0.0%	左記のうち, 平成16年度入学者 1人
	(主な理由)			
平成18年度	[0] 0		0.0%	左記のうち, 平成16年度入学者 1人 平成17年度入学者 1人
	(主な理由)			
平成19年度	[0] 1		0.3%	左記のうち, 平成16年度入学者 1人 平成17年度入学者 1人 平成18年度入学者 1人
	(主な理由) 進路変更			

<理工学部電気電子工学科>

区分 報告年度	退学者等の数	人	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	[0] 1		1.0%	左記のうち, 平成16年度入学者 1人
	(主な理由) 進路変更			
平成18年度	[0] 3		1.5%	左記のうち, 平成16年度入学者 2人 平成17年度入学者 1人
	(主な理由) 進路変更			
平成19年度	[0] 7		2.4%	左記のうち, 平成16年度入学者 3人 平成17年度入学者 3人 平成18年度入学者 1人
	(主な理由) 進路変更			

<理工学部都市工学科>

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	[0] 1 人	1.1%	左記のうち, 平成16年度入学者 1人
	(主な理由) 進路変更		
平成18年度	[0] 1 人	0.5%	左記のうち, 平成16年度入学者 1人 平成17年度入学者 人
	(主な理由) 進路変更		
平成19年度	[0] 1 人	0.4%	左記のうち, 平成16年度入学者 1人 平成17年度入学者 人 平成18年度入学者 人
	(主な理由) 進路変更		

2 授業科目の概要

<全学部共通(教養教育科目)>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
1	432	—	433	1 [0]	493 [61]	— [—]	493 [61]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{433} = 0$$

<文化教育学部学校教育課程教育学選修>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
56	21	0	77	53 [△3]	21 [0]	0 [0]	74 [△3]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{77} = 0$$

<文化教育学部学校教育課程教育心理学選修>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
59	16	0	75	56 [△3]	15 [△1]	0 [0]	71 [△4]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{75} = 0$$

<文化教育学部学校教育課程障害児教育選修>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
56	19	0	75	53 [△3]	18 [△1]	0 [0]	71 [△4]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	障害児教育	2	1	必修	課程認定(特別支援免許)に伴うカリキュラムの変更、有
2	障害児教育社会学	2	3	必修	課程認定(特別支援免許)に伴うカリキュラムの変更、有
3	精神遅滞児心理学	2	2	必修	課程認定(特別支援免許)に伴うカリキュラムの変更、有
4	障害児病理学	2	3	選択	課程認定(特別支援免許)に伴うカリキュラムの変更、有
5	障害児保健学	2	3	選択	課程認定(特別支援免許)に伴うカリキュラムの変更、有
6	精神遅滞児教育	2	1	選択	課程認定(特別支援免許)に伴うカリキュラムの変更、有
7	障害児学習指導法	2	3	選択	課程認定(特別支援免許)に伴うカリキュラムの変更、有
8	心理療法	2	3	選択	課程認定(特別支援免許)に伴うカリキュラムの変更、有
9	障害児教育史	2	3	選択	課程認定(特別支援免許)に伴うカリキュラムの変更、有
10	障害児診断法	2	2	選択	課程認定(特別支援免許)に伴うカリキュラムの変更、有
11	障害児教育演習	2	3	選択	課程認定(特別支援免許)に伴うカリキュラムの変更、有
12	養護学校観察	1	1	選択	課程認定(特別支援免許)に伴うカリキュラムの変更、有
13	人格測定法	2	2	選択	課程認定(特別支援免許)に伴うカリキュラムの変更、有
14	障害児心理学演習	2	3	選択	課程認定(特別支援免許)に伴うカリキュラムの変更、有
15	障害児心理学実験	1	3	選択	課程認定(特別支援免許)に伴うカリキュラムの変更、有
16	小児医学	2	3	選択	課程認定(特別支援免許)に伴うカリキュラムの変更、有
17	大脳生理学	2	3	選択	課程認定(特別支援免許)に伴うカリキュラムの変更、有
18	心身医学	2	3	選択	課程認定(特別支援免許)に伴うカリキュラムの変更、有
19	視聴覚教育	2	3	選択	課程認定(特別支援免許)に伴うカリキュラムの変更、有
20	障害児教育特殊講義	2	3	選択	課程認定(特別支援免許)に伴うカリキュラムの変更、有

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

教員免許法改正に伴う課程認定申請のためのカリキュラムの変更であり、学年進行により廃止されるが、代替措置等より履修上の問題は生じない。

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{20}{75} = 0.26$$

<文化教育学部学校教育課程教科教育選修>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
55	67	0	122	52 [△3]	70 [3]	0 [0]	122 [0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{122} = 0$$

<文化教育学部学校教育課程数学選修>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
58	57	0	115	55 [△3]	57 [0]	0 [0]	112 [△3]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{115} = 0$$

<文化教育学部学校教育課程理科選修>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
69	34	0	103	66 [△3]	34 [0]	0 [0]	100 [△3]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{103} = 0$$

<文化教育学部学校教育課程音楽選修>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
60	51	0	111	61 [1]	38 [△13]	0 [0]	99 [△12]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					
4					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{111} = 0$$

<文化教育学部国際文化課程日本・アジア文化選修>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
94	43	0	137	98 [4]	46 [3]	0 [0]	144 [7]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{137} = 0$$

<文化教育学部国際文化課程欧米文化選修>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
63	164	0	227	66 [3]	158 [△6]	0 [0]	224 [△3]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					
4					
5					
6					
7					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{227} = 0$$

<文化教育学部人間環境課程生活・環境・技術選修>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
27	109	0	136	30 [3]	119 [10]	0 [0]	149 [13]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	社会福祉原論	4	1	選択	カリキュラムの見直し(科目の分割)、有
2	社会保障論	4	2	選択	カリキュラムの見直し(科目の分割)、有
3	老人福祉論	4	1	選択	カリキュラムの見直し(科目の分割)、有
4	障害者福祉論	4	1	選択	カリキュラムの見直し(科目の分割)、有
5	児童福祉論	4	2	選択	カリキュラムの見直し(科目の分割)、有
6	社会福祉援助技術論	8	3	選択	カリキュラムの見直し(科目の分割)、有
7	社会福祉援助技術演習	8	3	選択	カリキュラムの見直し(科目の分割)、有
8	医学一般	4	2	選択	カリキュラムの見直し(科目の分割)、有

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

カリキュラムの見直しによる科目の分割(例えば、社会福祉原論4単位を社会福祉原論Ⅰと社会福祉原論Ⅱ各2単位等)であり、読替措置を行っているので、履修上の問題は生じない。

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{8}{136} = 0.05$$

<文化教育学部人間環境課程健康福祉・スポーツ選修>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
42	52	0	94	45 [3]	58 [6]	0 [0]	103 [9]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	社会福祉原論	4	1	選択必修	カリキュラムの見直し(科目の分割)、有
2	社会保障論	4	2	選択	カリキュラムの見直し(科目の分割)、有
3	老人福祉論	4	1	選択	カリキュラムの見直し(科目の分割)、有
4	障害者福祉論	4	1	選択	カリキュラムの見直し(科目の分割)、有
5	児童福祉論	4	2	選択	カリキュラムの見直し(科目の分割)、有
6	社会福祉援助技術論	8	3	選択	カリキュラムの見直し(科目の分割)、有
7	社会福祉援助技術演習	8	3	選択	カリキュラムの見直し(科目の分割)、有
8	医学一般	4	2	選択	カリキュラムの見直し(科目の分割)、有

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

カリキュラムの見直しによる科目の分割(例えば、社会福祉原論4単位を社会福祉原論Ⅰと社会福祉原論Ⅱ各2単位等)であり、代替措置を行っているため、履修上の問題は生じない。

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{8}{94} = 0.08$$

<文化教育学部美術・工芸課程>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
25	57	0	82	27 [2]	59 [2]	0 [0]	86 [4]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{82} = 0$$

<文化教育学部各課程共通>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
—	—	70	70	— [—]	— [—]	70 [0]	70 [0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{70} = 0$$

<経済学部経済システム課程国際経済社会コース>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
16	59	16	91	18 [2]	52 [△7]	16 [0]	86 [△5]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	産業組織論	2	2年	選択	カリキュラムの見直し、無
2	産業システム論	2	3年	選択	カリキュラムの見直し、無
3	エネルギー経済論	2	3年	選択	カリキュラムの見直し、無
4	産業構造論	2	3年	選択	カリキュラムの見直し、無
5	地域開発論	2	3年	選択	カリキュラムの見直し、無

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

平成19年度入学者のカリキュラムから廃止するが、平成18年度以前の入学者には開講するため、問題は無い。

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{5}{91} = 0.05$$

<経済学部経済システム課程総合政策コース>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
15	60	16	91	15 [0]	55 [△5]	16 [0]	86 [△5]	

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	産業組織論	2	2年	選択	カリキュラムの見直し、無
2	産業システム論	2	3年	選択	カリキュラムの見直し、無
3	エネルギー経済論	2	3年	選択	カリキュラムの見直し、無
4	産業構造論	2	3年	選択	カリキュラムの見直し、無
5	地域開発論	2	3年	選択	カリキュラムの見直し、無

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

平成19年度入学者のカリキュラムから廃止するが、平成18年度以前の入学者には開講するため、問題はない。

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{5}{91} = 0.05$$

<経済学部経営・法律課程企業経営コース>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
15	67	16	98	15 [0]	62 [△5]	16 [0]	93 [△5]	

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{98} = 0$$

<経済学部経営・法律課程法務管理コース>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
15	67	16	98	15 [0]	62 [△5]	16 [0]	93 [△5]	

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{98} = 0$$

<医学部医学科>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
45	0	0	45	36 [△9]	4 [4]	0 [0]	40 [△5]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{45} = 0$$

<医学部看護学科>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
83	15	0	98	54 [△29]	29 [14]	0 [0]	83 [△15]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{98} = 0$$

<理工学部数理科学科>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
21	38	0	59	20 [△1]	29 [△9]	0 [0]	49 [△10]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{59} = 0$$

<理工学部物理科学科>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
18	20	0	38	22 [4]	18 [△2]	0 [0]	40 [2]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{38} = 0$$

<理工学部知能情報システム学科>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
27	30	0	57	32 [5]	22 [△8]	0 [0]	54 [△3]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{57} = 0$$

<理工学部機能物質化学科物質化学コース>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
19	54	0	73	21 [2]	60 [6]	0 [0]	81 [8]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{73} = 0$$

<理工学部機能物質化学科機能材料化学コース>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
35	32	0	67	42 [7]	5 [Δ27]	0 [0]	47 [Δ20]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{67} = 0$$

<理工学部機械システム工学科>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
36	31	0	67	41 [5]	27 [△4]	1 [1]	69 [2]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	応用解析学	2	3	選択	専任教員未補充のため、無
2	材料強度学	2	4	選択	専任教員未補充のため、無
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

専任教員の未補充により、科目の一部を未開講としたが、選択科目のため履修上の問題は生じていない。

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{2}{67} = 0.02$$

<理工学部電気電子工学科>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
17	60	0	77	36 [19]	36 [Δ24]	1 [1]	73 [Δ4]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{77} = 0$$

<理工学部都市工学科>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
29	53	0	82	14 [△15]	58 [5]	1 [1]	73 [△9]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

--

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{82} = 0$$

3 施設・設備の整備状況、経費

「設置計画の概要」に記載していない情報のため省略

区 分		内 容				備 考	
(1) 校 地 等	専 用	共 用	共用する他の学 校等の専用等	計			
	m ² (0)	m ² (0)	m ² (0)	m ² (0)			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学 校等の専用等	計			
	m ² (0)	m ² (0)	m ² (0)	m ² (0)			
(3) 講 義 室 教 室 等	演 習 室	実 験 実 習 室	情報処理学習施設	語 学 学 習 施 設			
	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専 任 教 員 研 究 室	調 査 対 象 学 部 等 の 名 称		室 数				
	〇〇学部 〇〇学科		室				
(5) 図 書 ・ 設 備							
調査対象学部 等の名称	図書[外国書] 冊	学術雑誌[外国書] 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	[] ([])	[] ([])	()	()	()		
計	[] ([])	[] ([])	()	()	()		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
	m ²		席		冊		
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				
	m ²						
(8) 費の見積り 及び維持 方法の概要	経費の 見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設年度	完成年度
		教員1人当りの研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	
学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要							

4 既設大学等の状況

大学の名称	佐賀大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	定員 超過率	学位又 は称号	開設 年度	所在地	「平成18年4月1日 農学部 ¹ の学科設置として 大学設置・学校法人審議 会 ² 大学設置分科会運営委 員会において届出の審査 了済済」(教員組織につ いては、別添<参考資料> を参照)
農学部 応用生物科学科	4年	45人	—	180人	1.13倍	(学士) 農学	18年度	佐賀市本庄町1番地	
農学部 生物環境科学科	4	60	—	240	1.03	(学士) 農学	18	佐賀市本庄町1番地	
農学部 生命機能科学科	4	40	—	160	1.05	(学士) 農学	18	佐賀市本庄町1番地	
農学部 3年次編入学	2	—	3年次 10	20	—	—	20	佐賀市本庄町1番地	

5 学部・学科別教員組織の状況

<文化教育学部>

(1) 担当教員表

省略（統合による大学設置の場合は作成不要）

(2) 専任教員数

認可時の計画					変更状況						備考
教授	助教授	講師	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
66	35	15	116	0	66	35	15	0	116	0	
(72)	(45)	(4)	(121)	(0)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授		H18.7.1昇任
2	教授		H18.7.1昇任
3	教授		H18.7.1昇任
4	教授		H18.7.5退職
5	助教授		H18.11.1昇任
6	教授		H19.3.31定年退職
7	教授		H19.3.31定年退職
8	教授		H19.3.31定年退職
9	教授		H19.3.31定年退職
10	教授		H19.3.31退職
11	助教授		H19.3.31退職
12	講師		H19.4.1採用
13	講師		H19.4.1採用
14	講師		H19.4.1採用
15	講師		H19.4.1採用
16	講師		H19.4.1採用

17	教授		H19.4.1昇任
----	----	--	-----------

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。

<経済学部>

(1) 担当教員表

省略（統合による大学設置の場合は作成不要）

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況						備 考
教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	教 授	准 教 授	講 師	助 教	計	助 手	
20	23	1	44	3	20	23	1	0	44	3	
(22)	(21)	(4)	(47)	(3)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職 位	専任教員氏名	辞 任（ 就 任 辞 退 を 含 む ） 等 の 理 由
1	助教授		H18.9.30退職
2	講 師		H18.10.1採用
3	教 授		H19.3.31退職
4	助教授		H19.3.31退職
5	助教授		H19.3.31退職
6	助教授		H19.3.31退職
7	准教授		H19.4.1採用
8	准教授		H19.4.1昇任

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。
--

<医学部医学科>

(1) 担当教員表

省略（統合による大学設置の場合は作成不要）

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況						備 考
教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	教 授	准 教 授	講 師	助 教	計	助 手	
43	38	29	110	128	43	38	29	128	238	0	
(41)	(36)	(29)	(106)	(107)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職 位	専任教員氏名	辞 任（ 就 任 辞 退 を 含 む ） 等 の 理 由
1	助教授		H18.6.1昇任
2	助教授		H18.6.1昇任
3	講 師		H18.8.1採用
4	教 授		H18.1 1.16採用
5	講 師		H18.12.1昇任
6	助教授		H18.1 2.31退職
7	教 授		H19.2.1昇任（看護学科へ）
8	講 師		H19.2.1昇任
9	助教授		H19.2.15退職
10	教 授		H19.3.1昇任
11	教 授		H19.3.31 定年退職
12	助教授		H19.3.31退職
13	助教授		H19.3.31退職
14	講 師		H19.3.31退職
15	准教授		H19.4.1採用
16	助 教		H19.4.1採用
17	助 教		H19.4.1採用

18	助教		H19.4.1採用
19	助教		H19.4.1採用
20	助教		H19.4.1採用
21	講師		H19.4.1採用
22	助教		H19.4.1採用
23	助教		H19.4.1採用
24	助教		H19.4.1採用
25	助教		H19.4.1採用
26	助教		H19.4.1採用
27	助教		H19.4.1採用
28	助教		H19.4.1採用
29	助教		H19.4.1採用
30	助教		H19.4.1採用
31	助教		H19.4.1採用
32	助教		H19.4.1採用
33	助教		H19.4.1採用
34	助教		H19.4.1採用
35	助教		H19.4.1配置換
36	助教		H19.4.1配置換
37	助教		H19.4.1配置換
38	助教		H19.4.1配置換
39	助教		H19.4.1配置換
40	助教		H19.4.1配置換
41	助教		H19.4.1配置換
42	助教		H19.4.1配置換
43	助教		H19.4.1配置換

44	助教		H19.4.1配置換
45	助教		H19.4.1配置換
46	助教		H19.4.1配置換
47	助教		H19.4.1配置換
48	助教		H19.4.1配置換
49	助教		H19.4.1配置換
50	助教		H19.4.1配置換
51	助教		H19.4.1配置換
52	助教		H19.4.1配置換
53	助教		H19.4.1配置換
54	助教		H19.4.1配置換
55	助教		H19.4.1配置換
56	助教		H19.4.1配置換
57	助教		H19.4.1配置換
58	助教		H19.4.1配置換
59	助教		H19.4.1配置換
60	助教		H19.4.1配置換
61	助教		H19.4.1配置換
62	助教		H19.4.1配置換
63	助教		H19.4.1配置換
64	助教		H19.4.1配置換
65	助教		H19.4.1配置換
66	助教		H19.4.1配置換
67	助教		H19.4.1配置換
68	助教		H19.4.1配置換
69	助教		H19.4.1配置換
70	助教		H19.4.1配置換

71	助教		H19.4.1 配置換
72	助教		H19.4.1 配置換
73	助教		H19.4.1 配置換
74	助教		H19.4.1 配置換
75	助教		H19.4.1 配置換
76	助教		H19.4.1 配置換
77	助教		H19.4.1 配置換
78	助教		H19.4.1 配置換
79	助教		H19.4.1 配置換
80	助教		H19.4.1 配置換
81	助教		H19.4.1 配置換
82	助教		H19.4.1 配置換
83	助教		H19.4.1 配置換
84	助教		H19.4.1 配置換
85	助教		H19.4.1 配置換
86	助教		H19.4.1 配置換
87	助教		H19.4.1 配置換
88	助教		H19.4.1 配置換
89	助教		H19.4.1 配置換
90	助教		H19.4.1 配置換
91	助教		H19.4.1 配置換
92	助教		H19.4.1 配置換
93	助教		H19.4.1 配置換
94	助教		H19.4.1 配置換
95	助教		H19.4.1 配置換
96	助教		H19.4.1 配置換
97	助教		H19.4.1 配置換

98	助教		H19.4.1配置換
99	助教		H19.4.1配置換
100	助教		H19.4.1配置換
101	助教		H19.4.1配置換
102	助教		H19.4.1配置換
103	助教		H19.4.1配置換
104	助教		H19.4.1配置換
105	助教		H19.4.1配置換
106	助教		H19.4.1配置換
107	助教		H19.4.1配置換
108	助教		H19.4.1配置換
109	助教		H19.4.1配置換
110	助教		H19.4.1配置換
111	助教		H19.4.1配置換
112	助教		H19.4.1配置換
113	助教		H19.4.1配置換
114	助教		H19.4.1配置換
115	助教		H19.4.1配置換
116	助教		H19.4.1配置換
117	助教		H19.4.1配置換
118	助教		H19.4.1配置換
119	助教		H19.4.1配置換
120	助教		H19.4.1配置換
121	助教		H19.4.1配置換
122	助教		H19.4.1配置換
123	助教		H19.4.1配置換
124	助教		H19.4.1配置換

125	助教		H19.4.1 配置換
126	助教		H19.4.1 配置換
127	助教		H19.4.1 配置換
128	助教		H19.4.1 配置換
129	助教		H19.4.1 配置換
130	助教		H19.4.1 配置換
131	助教		H19.4.1 配置換
132	助教		H19.4.1 配置換
133	助教		H19.4.1 配置換
134	助教		H19.4.1 配置換
135	助教		H19.4.1 配置換
136	助教		H19.4.1 配置換
137	助教		H19.4.1 配置換
138	助教		H19.4.1 配置換
139	助教		H19.4.1 配置換
140	助教		H19.4.1 配置換
141	助教		H19.4.1 配置換
142	助教		H19.4.1 配置換
143	助教		H19.4.1 配置換
144	助教		H19.4.1 配置換
145	助教		H19.4.1 配置換
146	助教		H19.4.1 配置換
147	助教		H19.4.1 配置換
148	助教		H19.4.1 配置換
149	助教		H19.4.1 配置換

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。

<医学部看護学科>

(1) 担当教員表

省略（統合による大学設置の場合は作成不要）

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況						備 考
教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	教 授	准 教 授	講 師	助 教	計	助 手	
7	8	3	18	11	7	8	3	11	29	0	
(7)	(5)	(4)	(16)	(11)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職 位	専任教員氏名	辞 任（ 就 任 辞 退 を 含 む ） 等 の 理 由
1	助教授		H18.1 2.1昇任
2	教授		H19.2.1昇任（医学科より）
3	助教		H19.4.1採用
4	助教		H19.4.1昇任
5	助教		H19.4.1配置換
6	助教		H19.4.1配置換
7	助教		H19.4.1配置換
8	助教		H19.4.1配置換
9	助教		H19.4.1配置換
10	助教		H19.4.1配置換
11	助教		H19.4.1配置換
12	助教		H19.4.1配置換
13	助教		H19.4.1配置換

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。

<理工学部数理科学科>

(1) 担当教員表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況						備 考
教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	教 授	准 教 授	講 師	助 教	計	助 手	
6	3	1	10	0	6	3	1	0	10	0	
(8)	(5)	(1)	(14)	(0)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職 位	専任教員氏名	辞 任 (就 任 辞 退 を 含 む) 等 の 理 由
1	教授		H19.3.31定年退職
2	教授		H19.3.31定年退職
3	教授		H19.4.1採用

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。
--

<理工学部物理科学科>

(1) 担当教員表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況						備 考
教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	教 授	准 教 授	講 師	助 教	計	助 手	
7	8	0	15	0	7	8	0	0	15	0	
(8)	(6)	(1)	(15)	(1)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職 位	専任教員氏名	辞 任 (就 任 辞 退 を 含 む) 等 の 理 由
1	准教授		H19.4.1昇任
2	准教授		H19.4.1昇任
3	准教授		H19.4.1昇任

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。
--

<理工学部知能情報システム学科>

(1) 担当教員表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況						備 考
教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	教 授	准 教 授	講 師	助 教	計	助 手	
6	5	1	12	4	6	5	1	4	16	0	
(6)	(6)	(2)	(14)	(4)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職 位	専任教員氏名	辞 任 (就 任 辞 退 を 含 む) 等 の 理 由
1	准教授		H19.4.1採用
2	助教		H19.4.1配置換
3	助教		H19.4.1配置換
4	助教		H19.4.1配置換
5	助教		H19.4.1配置換

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。
--

<理工学部機能物質化学科>

(1) 担当教員表

省略（統合による大学設置の場合は作成不要）

(2) 専任教員数

認可時の計画					変更状況						備考
教授	助教授	講師	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
11	13	0	24	6	11	13	0	6	30	0	
(14)	(11)	(0)	(25)	(5)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	助教		H19.4.1配置換
2	助教		H19.4.1配置換
3	助教		H19.4.1配置換
4	助教		H19.4.1配置換
5	助教		H19.4.1配置換
6	助教		H19.4.1配置換

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。

<理工学部機械システム工学科>

(1) 担当教員表

省略（統合による大学設置の場合は作成不要）

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況						備 考
教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	教 授	准 教 授	講 師	助 教	計	助 手	
7	6	1	14	5	7	6	1	5	19	0	
(9)	(9)	(2)	(20)	(4)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職 位	専任教員氏名	辞 任（ 就 任 辞 退 を 含 む ） 等 の 理 由
1	教授		H19.3.31定年退職
2	教授		H19.3.31定年退職
3	講師		H19.3.31定年退職
4	助教		H19.4.1配置換
5	助教		H19.4.1配置換
6	助教		H19.4.1配置換
7	助教		H19.4.1配置換
8	助教		H19.4.1配置換

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。

<理工学部電気電子工学科>

(1) 担当教員表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況						備 考
教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	教 授	准 教 授	講 師	助 教	計	助 手	
5	8	3	16	2	5	8	3	2	18	0	
(7)	(9)	(3)	(19)	(5)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職 位	専任教員氏名	辞 任 (就 任 辞 退 を 含 む) 等 の 理 由
1	助 教		H19.4.1配置換
2	助 教		H19.4.1配置換

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

<理工学部都市工学科>

(1) 担当教員表

省略（統合による大学設置の場合は作成不要）

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況						備 考
教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	教 授	准 教 授	講 師	助 教	計	助 手	
11	8	1	20	3	11	8	1	3	23	0	
(10)	(5)	(3)	(18)	(2)	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職 位	専任教員氏名	辞 任（ 就 任 辞 退 を 含 む ） 等 の 理 由
1	教授		H18.10.1昇任
2	准教授		H19.4.1採用
3	助教		H19.4.1配置換
4	助教		H19.4.1配置換
5	助教		H19.4.1配置換

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。
--

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項についての実施計画
認 可 時 (H15年10月1日)	特になし		
年次計画履行状況 調 査 時 (年 月 日)	特になし		

7 その他全般的事項

<佐賀大学>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況，今後の見通しなど
特になし	特になし

(2) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期
・平成21年度 公表

b 公表方法
・自己点検・評価報告書を刊行
・ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画
・平成21年度に大学評価・学位授与機構の評価を受けることを役員会で決定した。

(3) 情報提供に関する事項

① 設置許可申請書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期(未公開の場合は予定時期) (平成19年6月下旬)

c 文部科学省ホームページから，貴学ホームページの「設置許可申請書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)

① 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期(未公開の場合は予定時期) (平成19年8月中旬)

c 文部科学省ホームページから，貴学ホームページの「設置許可申請書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)

本学は、旧佐賀大学と佐賀医科大学との統合により平成15年10月に新しく発足し、統合前の佐賀大学及び佐賀医科大学が取り組んできた教育、研究、地域・社会貢献、国際貢献の諸活動（4つの使命）を継承するとともに、統合によって生まれる新たな「知の創造」を追究することを目標としている。

新生佐賀大学においては、その目標を達成するため、統合のメリットを活かしながら、学生と社会の要請に応える教育と研究を着実に展開している。

1. 教育機能の強化

(1) 教養教育の充実

教養教育においては、統合前より実施してきた全学部の教員が教養教育を担うシステムを継承し、これに加え、①健康、人間、生命科学分野などの授業科目の増設、②地域に基盤を置く大学としての特色を踏まえ、地域を学び考える「地域と文明」を新たな共通主題科目として創設（平成16年度）、③各学部が開講する専門教育科目を教養教育科目として履修できる学内開放科目として平成18年度新たに17科目を認定し、42科目に拡大するなど統合によるメリットを活かした教養教育の充実に努めている。

また、教育改革・改善を推進するための組織として「高等教育開発センター」を設置し、大学教育委員会、教養教育運営機構などとの連携・協力体制を整備し、学生による授業改善のためのアイデアコンペ、教職員及び学生が教育改善に参画するFD・SDフォーラム、教員養成改革フォーラムなどの開催やFDハンドブックの作成など教育改革事業を実施した。

(2) ネット授業の展開（現代GP）

平成16年度に現代GPに採用された「ネット授業の展開」により、教養教育運営機構とネット授業推進委員会が連携し、平成18年度は17科目を開講し1,380人が履修した。さらに、平成19年度は科目数を5科目増やし、22科目とした。また、リメディアル英語教育を実施するとともに、ブレンディッド型（対面授業＋ネット授業）の導入などの改善が図られた。

2. 研究機能の強化と新しい学問領域の創出

教育研究評議会の下に研究推進部会を設置し、新しい経営体制の下での中期的な教育研究方針に基づく柔軟な研究組織の設計や推進すべき研究の方向性、重点領域への資源配分などについて検討を行った。その結果、海洋エネルギー、シンクロトロン、低平地、海浜台地、有明海、環境、情報技術、生命・バイオ、地域医療科学、生活習慣病、地域経済、アジア社会、地域文化・歴史等13分野を重点領域として定めた。

また、医文理融合型の新しい大学院設置を目指し、教育研究評議会の下に中・長期教育研究検討部会を設置し、具体的な検討を行っている。

3. 地域・社会貢献

平成18年8月からTLO、知的財産管理室及び科学技術共同開発センターを統合した産学官連携推進機構を設置し、同機構内に関係課の事務室を移転させたことにより、地域からの要望をくみ上げやすくするためのワンストップサービス体制を構築した。

4. アジアに開かれた総合大学

国際的学術交流を組織的に推進するため「国際貢献推進室」を設置し、アジアを中心とする海外の大学との学術交流協定の締結、デュアル・ディグリー・プログラムの導入などを進めている。

また、語学教育充実のため、ネイティブスピーカーの英語教員を採用し、英語クラスを学力別編成とするなど効果的に配置し、実用的な英語能力の向上を図っている。

平成18年度 佐賀大学農学部教員組織表 (旧組織との対照表)

(学科改組前)H18年3月末日

学科	講座	職名	人数
生物生産学科	資源社会管理学	教授	3
		助教授	2
		講師	1
		助手	0
	生産生物学	教授	3
		助教授	4
		講師	0
		助手	0
	生産情報科学	教授	2
		助教授	2
		講師	0
		助手	1
生産環境工学	教授	4	
	助教授	1	
	講師	0	
	助手	1	
応用生物科学科	生物工学	教授	3
		助教授	3
		講師	0
		助手	0
	生物調節学	教授	2
		助教授	2
		講師	1
		助手	0
	動物資源学	教授	3
		助教授	1
		講師	0
		助手	1
	生物機能化学	教授	3
		助教授	2
		講師	0
		助手	1
	生物資源利用化学	教授	4
		助教授	1
講師		1	
助手		1	
附属資源循環フィールド 科学教育研究センター	教授	1	
	助教授	2	
	講師	0	
	助手	1	
計			57
(内訳) 教授			28
助教授			20
講師			3
助手			6

(学科改組後)H18年4月1日現在

学科	講座	職名	人数	
応用生物科学科	生物資源開発学	教授	5	
		助教授	5	
		講師	0	
		助手	0	
	生物資源制御学	教授	4	
		助教授	2	
		講師	0	
		助手	1	
	生物環境科学科	生物環境保全学	教授	5
			助教授	3
講師			1	
助手			2	
資源循環生産学		教授	3	
		助教授	3	
		講師	0	
		助手	0	
地域社会開発学		教授	3	
		助教授	2	
	講師	1		
	助手	0		
生命機能科学科	生命化学	教授	3	
		助教授	2	
		講師	0	
		助手	1	
	食糧科学	教授	4	
		助教授	1	
附属資源循環フィールド 科学教育研究センター	教授	1		
	助教授	2		
	講師	0		
	助手	1		

計 57

(内訳) 教授 28
助教授 20
講師 3
助手 6



〔平成15年度設置〕

佐賀大学大学院医学系研究科博士課程
設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人佐賀大学
平成19年4月1日現在

作成担当者

総合企画監 ニシヤマ 西山 ススム 普

総合企画監付企画係

係長 キツカノ 木塚 トクオ 徳男

電話番号 0952-28-8814

(夜間) 0952-28-8814

F A X 0952-28-8118

e-mail kizukan@cc.saga-u.ac.jp

目 次

1. 調査対象大学院等の概要	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況, 経費	8
4. 既設大学等の状況	9
5. 研究科・専攻・課程別教員組織の状況	11
6. 留意事項に対する履行状況等	16
7. その他全般的事項	17

大学院等設置に係る設置計画履行状況報告書

1 調査対象大学院等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 佐賀大学

(2) 大学院名

佐賀大学大学院

(3) 大学本部の位置

佐賀県佐賀市本庄町1番地

(4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
学長	(ハセガワ アキラ) 長谷川 照 (平成15年10月1日)		
医学系 研究科長	(ムカイ ツネヒロ) 向井 常博 (平成15年10月1日)	(キモト マサオ) 木本 雅夫 (平成17年10月1日)	任期満了に伴う変更⑰

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

(5) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	認可時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
医学系研究科(博士課程) 機能形態系専攻 博士(医学)	4年	13人	52人	基礎となる学部名等 医学部 医学科
医学系研究科(博士課程) 生体制御系専攻 博士(医学)	4	14	56	基礎となる学部名等 医学部 医学科
医学系研究科(博士課程) 生態系専攻 博士(医学)	4	3	12	基礎となる学部名等 医学部 医学科

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

<機能形態系専攻>

区分	報告年度				平均入学定員 超過率	備考
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度		
A 入学定員	(-)人 13	(-)人 13	(-)人 13	(-)人 13	倍	
志願者数	(0) 4	(5) 15	(4) 13	(8) 14		

受験者数	(0) 4	(5) 15	(4) 13	(8) 14	0.88	
合格者数	(0) 4	(5) 15	(4) 13	(8) 14		
B 入学者数	(0) 4	(5) 15	(4) 13	(8) 14		
入学定員超過率 B/A	(-) 0.30	(-) 1.15	(-) 1.00	(-) 1.07		

<生体制御系専攻>

報告年度 区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	(-) 14	(-) 14	(-) 14	(-) 14	1.01	
志願者数	(1) 6	(8) 24	(4) 17	(7) 15		
受験者数	(1) 6	(8) 23	(4) 16	(7) 14		
合格者数	(1) 6	(8) 23	(4) 16	(7) 14		
B 入学者数	(1) 6	(8) 23	(4) 15	(7) 13		
入学定員超過率 B/A	(-) 0.42	(-) 1.64	(-) 1.07	(-) 0.92		

<生態系専攻>

報告年度 区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	(-) 3	(-) 3	(-) 3	(-) 3	1.16	
志願者数	(0) 0	(2) 10	(1) 3	(1) 6		
受験者数	(0) 0	(2) 7	(1) 3	(1) 6		
合格者数	(0) 0	(2) 6	(1) 3	(1) 6		
B 入学者数	(0) 0	(2) 6	(1) 3	(1) 5		
入学定員超過率 B/A	(-) 0.00	(-) 2.00	(-) 1.00	(-) 1.66		

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

<機能形態系専攻>

報告年度 学 年	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次	[0] 4	[1] 15	[0] 14	[0] 15	
2年次	/	[0] 4	[1] 16	[0] 13	
3年次	/	/	[0] 5	[1] 14	
4年次	/	/	/	[0] 4	
計	[0] 4	[1] 19	[1] 35	[1] 46	

<生体制御系専攻>

報告年度 学 年	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次	[0] 6	[2] 23	[0] 14	[2] 12	
2年次	/	[0] 6	[2] 22	[0] 14	
3年次	/	/	[0] 6	[2] 23	
4年次	/	/	/	[0] 6	
計	[0] 6	[2] 29	[2] 42	[4] 55	

<生態系専攻>

報告年度 学 年	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次	[0] 0	[0] 6	[0] 3	[1] 5	

2年次		[0] 0	[0] 6	[0] 3
3年次			[0] 0	[0] 6
4年次				[0] 0
計		[0] 0	[0] 6	[0] 14

(5) ④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

<機能形態系専攻>

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	[] 0 人	0.0%	左記のうち、 平成16年度入学者 人
	(主な理由)		
平成18年度	[] 0 人	0.0%	左記のうち、 平成16年度入学者 人 平成17年度入学者 人
	(主な理由)		
平成19年度	[] 0 人	0.0%	左記のうち、 平成16年度入学者 人 平成17年度入学者 人 平成18年度入学者 人
	(主な理由)		

<生体制御系専攻>

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	[] 0 人	0.0%	左記のうち、 平成16年度入学者 人
	(主な理由)		
平成18年度	[0] 1 人	3.4%	左記のうち、 平成16年度入学者 人 平成17年度入学者 1人
	(主な理由) 一身上の都合		
平成19年度	[0] 1 人	2.3%	左記のうち、 平成16年度入学者 人 平成17年度入学者 1人 平成18年度入学者 人
	(主な理由)		

(主な理由)
— 身上の都合

<生態系専攻>

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	[] 0 人	0.0%	左記のうち, 平成16年度入学者 人
	(主な理由)		
平成18年度	[] 0 人	0.0%	左記のうち, 平成16年度入学者 人 平成17年度入学者 人
	(主な理由)		
平成19年度	[] 0 人	0.0%	左記のうち, 平成16年度入学者 人 平成17年度入学者 人 平成18年度入学者 人
	(主な理由)		

2 授業科目の概要

<医学系研究科博士課程機能形態系専攻>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	31	-	33	2 [0]	31 [0]	0 [0]	33 [0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	発生学概論	3	1	選択	履修希望者がいなかったため
2	実験発生学	4	1	選択	履修希望者がいなかったため
3	生殖生理学	4	2	選択	履修希望者がいなかったため
4	超微形態観察法	3	1	選択	履修希望者がいなかったため
5	腎臓・血管病理学	4	1・2	選択	履修希望者がいなかったため
6	神経病理学	4	1	選択	履修希望者がいなかったため
7	生殖病理学	4	1・2	選択	履修希望者がいなかったため
8	声帯の構造と病態生理	8	1・2	選択	履修希望者がいなかったため
9	画像解析法	3	1	選択	履修希望者がいなかったため
10	頭頸部の病態機能	6	1・2	選択	履修希望者がいなかったため
11	運動器学	4	1	選択	履修希望者がいなかったため

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

十分な授業科目を提供しているため, 支障はない

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{11}{33} = 0.33$$

<医学系研究科博士課程生体制御系専攻>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	47	—	49	2 [0]	48 [1]	0 [0]	50 [1]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	細胞運動機構	4	1	選択	履修希望者がいなかったため
2	先天性代謝異常	4	1	選択	履修希望者がいなかったため
3	組織内微量金属代謝	4	2	選択	履修希望者がいなかったため
4	生物物理化学研究法	3	1	選択	履修希望者がいなかったため
5	分子遺伝・分子生物学	8	1・2	選択	履修希望者がいなかったため
6	遺伝子工学	8	1	選択	履修希望者がいなかったため
7	媒介動物学	4	1・2	選択	履修希望者がいなかったため
8	化学療法	4	2	選択	履修希望者がいなかったため
9	機器分析法	3	1	選択	履修希望者がいなかったため
10	薬物動態論	4	1・2	選択	履修希望者がいなかったため

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					
4					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

十分な授業科目を提供しているため, 支障はない

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{10}{49} = 0.2$$

<医学系研究科博士課程生態系>

(1) 授業科目表

省略(統合による大学設置の場合は作成不要)

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	19	—	21	2 [0]	23 [4]	0 [0]	25 [4]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	組織学実験法	3	1	選択	履修希望者がいなかったため
2	有機・無機定性定量実験法	3	1	選択	履修希望者がいなかったため
3	環境中毒学特論	4	1・2	選択	履修希望者がいなかったため
4	環境発癌学	4	1	選択	履修希望者がいなかったため
5	産業衛生学特論	4	1・2	選択	履修希望者がいなかったため
6	環境汚染論	4	2	選択	履修希望者がいなかったため
7	人類生態学	4	2	選択	履修希望者がいなかったため
8	人体計測法	3	1	選択	履修希望者がいなかったため
9	生化学的研究法	3	1	選択	履修希望者がいなかったため
10	個人識別論	8	1・2	選択	履修希望者がいなかったため
11	法医中毒論	4	1・2	選択	履修希望者がいなかったため
12	血液型学	4	1・2	選択	履修希望者がいなかったため

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし				
2					
3					
4					

(5) 授業科目を未開講, 廃止としたことに係る大学の所見

充分な授業科目を提供しているため, 支障はない

(6) 「許可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{許可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{12}{21} = 0.57$$

3 施設・設備の整備状況、経費

「設置計画の概要」に記載していない情報のため省略

区 分		内 容				備 考	
(1) 校 地 等	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用等	計			
	m ² ()	m ² ()	m ² ()	m ² ()			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用等	計			
	m ² ()	m ² ()	m ² ()	m ² ()			
(3) 講 義 室 教 室 等	演 習 室	実 験 実 習 室	情報処理学習施設	語 学 学 習 施 設			
	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専 任 教 員 研 究 室	調 査 対 象 学 部 等 の 名 称		室	数			
	〇〇学部 〇〇学科			室			
(5) 図 書 ・ 設 備							
調査対象学部等の名称	図書 [外国書] 冊	学術雑誌 [外国書] 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	[] ([])	[] ([])	()	()	()		
計	[] ([])	[] ([])	()	()	()		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
	m ²		席	冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				
	m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設年度	完成年度
		教員1人当りの研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
学生納付金以外の維持方法の概要							

4 既設大学等の状況

大学の名称	佐賀大学								備考
	既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	定員 超過率	学位又 は称号	開設 年度	
教育学研究科 (修士課程) 学校教育専攻	2	6	—	12	1.41	修士 (教育学)	16	佐賀市本庄町1番地	
教育学研究科 (修士課程) 教科教育専攻	2	33	—	66	1.36	修士 (教育学)	16	佐賀市本庄町1番地	
経済学研究科 (修士課程) 金融・経済政策専攻	2	4	—	8	1.00	修士 (経済学)	16	佐賀市本庄町1番地	
経済学研究科 (修士課程) 企業経営専攻	2	4	—	8	2.62	修士 (経済学)	16	佐賀市本庄町1番地	
医学系研究科 (修士課程) 医科学専攻	2	15	—	30	1.19	修士 (医科学)	16	佐賀市鍋島5-1-1	
医学系研究科 (修士課程) 看護学専攻	2	16	—	32	1.09	修士 (看護学)	16	佐賀市鍋島5-1-1	
工学系研究科 (博士前期課程) 機能物質化学専攻	2	16	—	32	1.08	修士 (理学)	16	佐賀市本庄町1番地	
工学系研究科 (博士前期課程) 物理科学専攻	2	15	—	30	0.90	修士 (理学)	16	佐賀市本庄町1番地	
工学系研究科 (博士前期課程) 機械及び工学専攻	2	27	—	54	1.18	修士 (工学)	16	佐賀市本庄町1番地	
工学系研究科 (博士前期課程) 電気電子工学専攻	2	26	—	52	1.09	修士 (工学)	16	佐賀市本庄町1番地	
工学系研究科 (博士前期課程) 知能情報及び工学専攻	2	15	—	30	1.31	修士 (理学)	16	佐賀市本庄町1番地	
工学系研究科 (博士前期課程) 数理科学専攻	2	11	—	22	0.98	修士 (理学)	16	佐賀市本庄町1番地	
工学系研究科 (博士前期課程) 都市工学専攻	2	27	—	54	1.10	修士 (工学)	16	佐賀市本庄町1番地	
工学系研究科 (博士前期課程) 循環物質工学専攻	2	17	—	34	1.36	修士 (工学)	16	佐賀市本庄町1番地	
工学系研究科 (博士前期課程) 生体機能及び制御工学専攻	2	32	—	64	1.01	修士 (学術, 理学, 工学)	16	佐賀市本庄町1番地	
工学系研究科 (博士後期課程) I材料・物質科学専攻	3	9	—	27	0.92	博士 (学術, 理学, 工学)	16	佐賀市本庄町1番地	
工学系研究科 (博士後期課程) II生産科学専攻	3	7	—	21	1.61	博士 (学術, 理学, 工学)	16	佐賀市本庄町1番地	
工学系研究科 (博士後期課程) 生体機能及び制御工学専攻	3	14	—	42	0.35	博士 (学術, 理学, 工学)	16	佐賀市本庄町1番地	

農学研究科 (修士課程) 生物生産学専攻	2	20	-	40	0.82	修士 (農学)	16	佐賀市本庄町1番地
農学研究科 (修士課程) 応用生物科学専攻	2	30	-	60	0.78	修士 (農学)	16	佐賀市本庄町1番地

5 研究科・専攻・課程別教員組織の状況

<医学系研究科博士課程機能形態系専攻>

(1) 担当教員表

省略（統合による大学設置の場合は作成不要）

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況						備 考
教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	教 授	准 教 授	講 師	助 教	計	助 手	
17	12	9	38	-	17	12	9	15	53	-	
(19)	(13)	(0)	(32)	(-)	[0]	[0]	[0]	[15]	[15]	[-]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職 位	専任教員氏名	辞 任（ 就 任 辞 退 を 含 む ） 等 の 理 由
1	助教授		H18.10.1新規担当
2	助教授		H18.10.1新規担当
3	教授		H19.1.1新規担当
4	助教授		H19.3.31辞職
5	講師		H19.4.1新規担当
6	講師		H19.4.1新規担当
7	講師		H19.4.1新規担当
8	講師		H19.4.1新規担当
9	講師		H19.4.1新規担当
10	講師		H19.4.1新規担当
11	講師		H19.4.1新規担当
12	講師		H19.4.1新規担当
13	講師		H19.4.1新規担当
14	助教		H19.4.1新規担当
15	助教		H19.4.1新規担当

16	助教		H19.4.1新規担当
17	助教		H19.4.1新規担当
18	助教		H19.4.1新規担当
19	助教		H19.4.1新規担当
20	助教		H19.4.1新規担当
21	助教		H19.4.1新規担当
22	助教		H19.4.1新規担当
23	助教		H19.4.1新規担当
24	助教		H19.4.1新規担当
25	助教		H19.4.1新規担当
26	助教		H19.4.1新規担当
27	助教		H19.4.1新規担当
28	助教		H19.4.1新規担当

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。

<医学系研究科博士課程生体制御系専攻>

(1) 担当教員表

省略（統合による大学設置の場合は作成不要）

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況						備 考
教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	教 授	准 教 授	講 師	助 教	計	助 手	
24	22	5	51	-	24	22	5	15	66		
(20)	(18)	(0)	(38)	(-)	[0]	[0]	[0]	[15]	[15]		

(3) 専任教員交代の理由

番号	職 位	専任教員氏名	辞 任（ 就 任 辞 退 を 含 む ） 等 の 理 由
1	助教授		H18.12.31辞職
2	助教授		H19.2.16辞職
3	助教授		H19.3.31辞職
4	助教授		H19.3.31辞職
5	教 授		H19.4.1新規担当
6	教 授		H19.4.1新規担当
7	准教授		H19.4.1新規担当
8	准教授		H19.4.1新規担当
9	講 師		H19.4.1新規担当
10	講 師		H19.4.1新規担当
11	講 師		H19.4.1新規担当
12	講 師		H19.4.1新規担当
13	講 師		H19.4.1新規担当
14	助 教		H19.4.1新規担当
15	助 教		H19.4.1新規担当
16	助 教		H19.4.1新規担当

17	助教		H19.4.1新規担当
18	助教		H19.4.1新規担当
19	助教		H19.4.1新規担当
20	助教		H19.4.1新規担当
21	助教		H19.4.1新規担当
22	助教		H19.4.1新規担当
23	助教		H19.4.1新規担当
24	助教		H19.4.1新規担当
25	助教		H19.4.1新規担当
26	助教		H19.4.1新規担当
27	助教		H19.4.1新規担当
28	助教		H19.4.1新規担当

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。

<医学系研究科博士課程生態系専攻>

(1) 担当教員表

省略（統合による大学設置の場合は作成不要）

(2) 専任教員数

認可時の計画					変更状況						備考
教授	助教授	講師	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
10	7	2	19	—	10	7	2	1	20	—	
(4)	(1)	(0)	(5)	(—)	[0]	[0]	[0]	[1]	[1]	[—]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授		H19.3.31定年退職
2	教授		H19.4.1新規担当
3	准教授		H19.4.1新規担当
4	准教授		H19.4.1新規担当
5	准教授		H19.4.1新規担当
6	講師		H19.4.1新規担当
7	講師		H19.4.1新規担当
8	助教		H19.4.1新規担当

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職者と同一分野の専任教員の速やかな補充に努めているため、学生の履修等への影響は少ない。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項についての実施計画
認 可 時 (H15年10月1日)	特になし		
年次計画履行状況 調 査 時 (年 月 日)	特になし		

7 その他全般的事項

<佐賀大学>

(1) 設置計画変更事項等

認 可 時 の 計 画	変 更 内 容 ・ 状 況 , 今 後 の 見 通 し な ど
特になし	特になし

(2) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・平成21年度 公表

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行
- ・ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成21年度に大学評価・学位授与機構の評価を受けることを役員会で決定した。

(3) 情報提供に関する事項

① 設置許可申請書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期(未公開の場合は予定時期) (平成19年6月下旬)

c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置許可申請書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)

① 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期(未公開の場合は予定時期) (平成19年8月中旬)

c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置許可申請書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)

本学は、旧佐賀大学と佐賀医科大学との統合により平成15年10月に新しく発足し、統合前の佐賀大学及び佐賀医科大学が取り組んできた教育、研究、地域・社会貢献、国際貢献の諸活動（4つの使命）を継承するとともに、統合によって生まれる新たな「知の創造」を追究することを目標としている。

新生佐賀大学においては、その目標を達成するため、統合のメリットを活かしながら、学生と社会の要請に応える教育と研究を着実に展開している。

1. 教育機能の強化

(1) 教養教育の充実

教養教育においては、統合前より実施してきた全学部の教員が教養教育を担うシステムを継承し、これに加え、①健康、人間、生命科学分野などの授業科目の増設、②地域に基盤を置く大学としての特色を踏まえ、地域を学び考える「地域と文明」を新たな共通主題科目として創設（平成16年度）、③各学部が開講する専門教育科目を教養教育科目として履修できる学内開放科目として平成18年度新たに17科目を認定し、42科目に拡大するなど統合によるメリットを活かした教養教育の充実に努めている。

また、教育改革・改善を推進するための組織として「高等教育開発センター」を設置し、大学教育委員会、教養教育運営機構などとの連携・協力体制を整備し、学生による授業改善のためのアイデアコンペ、教職員及び学生が教育改善に参画するFD・SDフォーラム、教員養成改革フォーラムなどの開催やFDハンドブックの作成など教育改革事業を実施した。

(2) ネット授業の展開（現代GP）

平成16年度に現代GPに採用された「ネット授業の展開」により、教養教育運営機構とネット授業推進委員会が連携し、平成18年度は17科目を開講し1,380人が履修した。さらに、平成19年度は科目数を5科目増やし、22科目とした。また、リメディアル英語教育を実施するとともに、ブレンディッド型（対面授業＋ネット授業）の導入などの改善が図られた。

2. 研究機能の強化と新しい学問領域の創出

教育研究評議会の下に研究推進部会を設置し、新しい経営体制の下での中期的な教育研究方針に基づく柔軟な研究組織の設計や推進すべき研究の方向性、重点領域への資源配分などについて検討を行った。その結果、海洋エネルギー、シンクロトロン、低平地、海浜台地、有明海、環境、情報技術、生命・バイオ、地域医療科学、生活習慣病、地域経済、アジア社会、地域文化・歴史等13分野を重点領域として定めた。

また、医文理融合型の新しい大学院設置を目指し、教育研究評議会の下に中・長期教育研究検討部会を設置し、具体的な検討を行っている。

3. 地域・社会貢献

平成18年8月からTLO、知的財産管理室及び科学技術共同開発センターを統合した産学官連携推進機構を設置し、同機構内に関係課の事務室を移転させたことにより、地域からの要望をくみ上げやすくするためのワンストップサービス体制を構築した。

4. アジアに開かれた総合大学

国際的学術交流を組織的に推進するため「国際貢献推進室」を設置し、アジアを中心とする海外の大学との学術交流協定の締結、デュアル・ディグリー・プログラムの導入などを進めている。

また、語学教育充実のため、ネイティブスピーカーの英語教員を採用し、英語クラスを学力別編成とするなど効果的に配置し、実用的な英語能力の向上を図っている。